

移動平均原価再計算

登録済み伝票から指定期間内の移動平均原価を計算し、一括で各伝票の原単価、原価を変更します。

Point

- ・ 一括して売上傳票を変更するため、どこかで売上入力起動している間は使用できません。
また、移動平均原価再計算が起動している間は売上入力を使用できません。
- ・ 指定期間内の伝票で、商品マスタの売上原価計算法が「倉庫別移動平均」の商品を含む伝票を更新します。

伝票	更新対象
商品振替伝票	振替元商品の払出単価、払出金額 (振替元商品の払出金額が変更された場合)振替完成品の受入単価、受入金額 ※ 出庫日基準で再計算します。
入出庫伝票 (棚卸含む)	処理区分＝”出庫処理”の単価、金額 処理区分＝”倉庫間移動”の単価、金額 処理区分＝”棚卸処理”の単価、金額
売上傳票	原単価、原価

- ・ 売上傳票を先に登録し、仕入伝票や生産伝票を後追いで登録した場合などは売上傳票の原単価、原価は正しい値ではありません。(売上時点での原単価、原価になっているため)
このような場合に全ての伝票を登録後、本処理を実行することにより正しい倉庫別移動平均原価がセットされます。
- ・ 原価計算の元になる在庫数量、在庫金額は「入庫分は当日までを取得」「出庫分は前日までを取得」し、計算しています。

- 例) 8/1の移動平均原価再計算する場合
- ・ 8/1の仕入分は原価計算に含まれます。
 - ・ 8/1の売上分は原価計算に含まれません。

1) 手順

移動平均原価再計算

条件指定

期間 2015/08/01 ~ 2015/09/30

【期間】再計算対象の伝票日付の範囲を入力します

実行 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 終了 F12

- ① 原価を再計算する倉庫、商品、期間を指定します。
- ② 「実行」をクリックします。